

# I 調査結果の概要

# 1 全国主要7都市における国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品の価格・販売動向

## (1) 販売店舗数割合

平成17年における販売区分別（国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品。以下同じ。）の販売店舗数割合は、以下のとおりであった。

ア 国産標準品の品目別の販売店舗数割合をみると、輸入品が比較的多いかぼちゃ、ブロッコリー、にんにく、しょうがは9割未満となっており、他の品目に比べ低くなっている。

イ 有機栽培品については、にんじん、たまねぎ及びばれいしょが約1割となっており、他の品目に比べて高くなっている。

ウ 特別栽培品については、たまねぎの割合が最も高く、ほかに、トマト、ばれいしょ、にんじん、ミニトマトが約1割となっている。

エ 輸入品については、にんにく、ブロッコリーが約5割と高く、次いで、かぼちゃ、生しいたけ、しょうがが約3割、ねぎが約2割となっている。

表1 販売区分別の販売店舗数割合

品目	販売店舗数割合 (%)			
	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	99.9	4.7	2.4	...
にんじん	97.2	11.7	10.6	3.6
ごぼう	96.9	4.2	7.7	6.0
はくさい	98.7	...	2.8	...
キャベツ	99.6	1.6	1.9	...
ほうれんそう	98.1	6.2	3.0	...
ねぎ	97.3	0.7	1.9	18.7
ブロッコリー	79.1	...	...	52.7
レタス	99.5	...	3.4	...
きゅうり	99.4	1.9	6.1	...
かぼちゃ	67.0	...	2.0	33.5
なす	96.3	0.2	3.4	...
トマト	97.1	2.3	12.9	...
ミニトマト	94.1	2.7	10.4	2.4
ピーマン	95.4	1.1	9.1	...
ばれいしょ	94.2	9.1	12.2	...
さといも	92.6	...	2.5	1.1
たまねぎ	93.4	11.5	15.4	4.9
にんにく	86.0	...	0.9	52.9
しょうが	86.1	...	6.2	31.5
生しいたけ	95.5	...	...	32.2

注：販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,073店舗）に対する、各品目販売区分別の販売店舗数（年間延べ）の割合である。

## (2) 価格動向

主要品目について、販売区分別の月別の価格動向をみると、価格の騰落はあるものの、総じて有機栽培品、特別栽培品は国産標準品の価格を上回って推移し、輸入品は国産標準品の価格を下回って推移している。

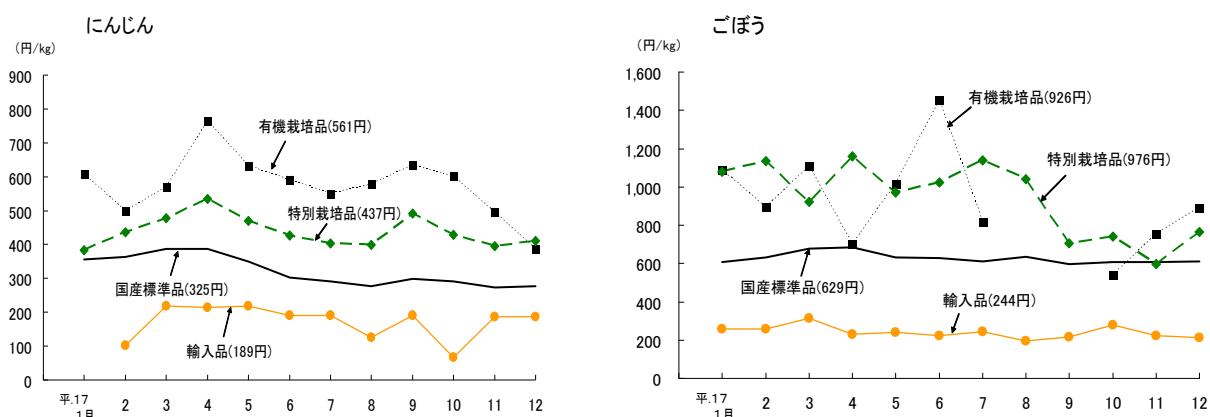
また、主要品目の販売区分別年平均価格（1kg当たり）と国産標準品との価格を比較すると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品は、にんじんが73%（国産標準品325円に対し有機栽培品561円、以下同じ。）、たまねぎが72%（230円に対し396円）、ばれいしょが53%（279円に対し427円）、トマトが50%（588円に対し881円）、それぞれ国産標準品を上回っている。

イ 特別栽培品は、トマトが65%（国産標準品588円に対し特別栽培品969円、以下同じ。）、ごぼうが55%（629円に対し976円）、ピーマンが53%（692円に対し1,062円）、きゅうりが48%（440円に対し650円）、それぞれ国産標準品を上回っている。

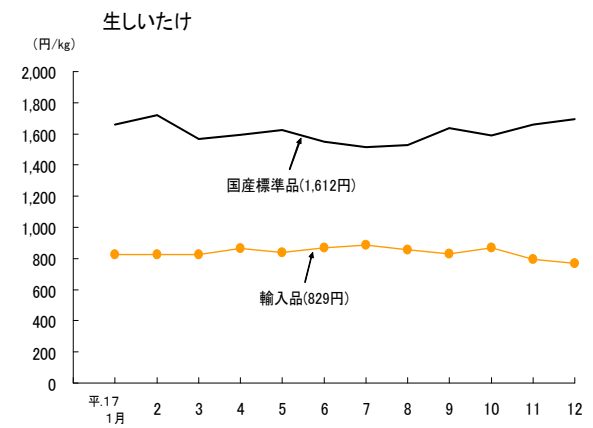
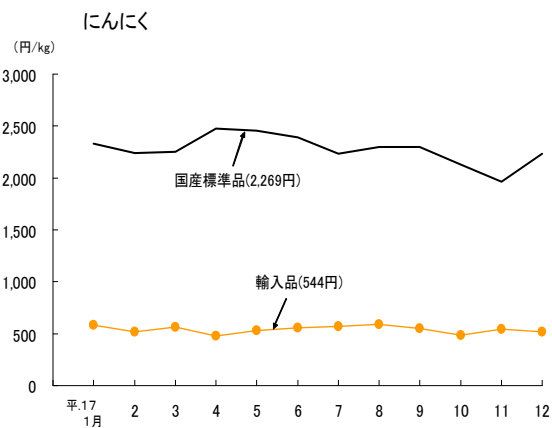
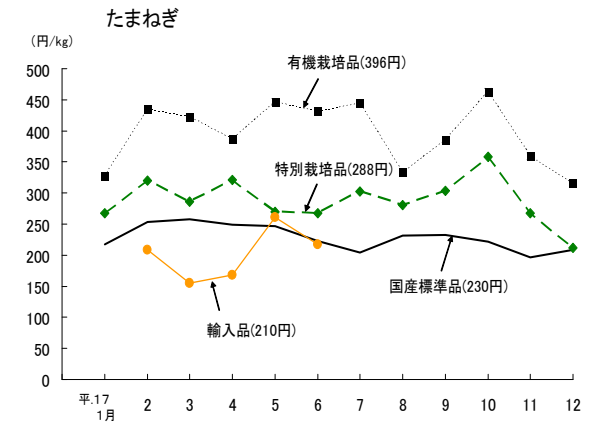
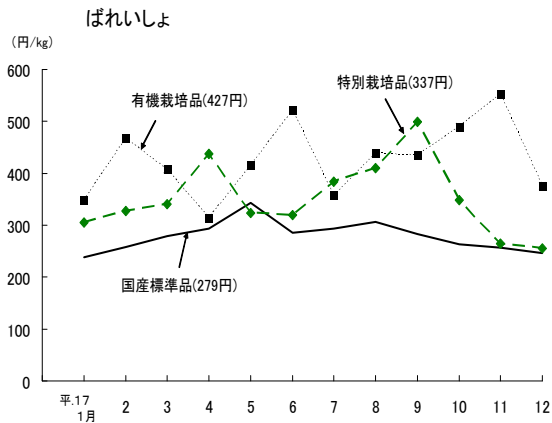
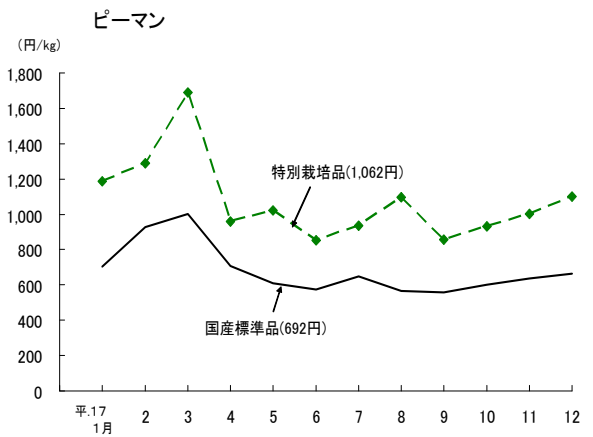
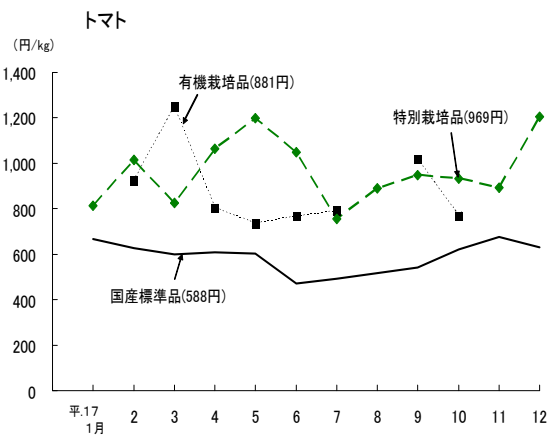
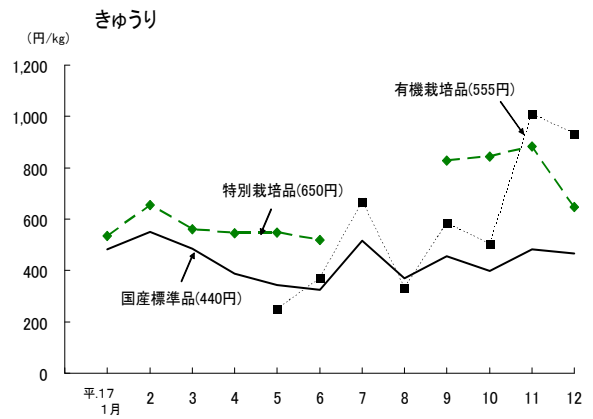
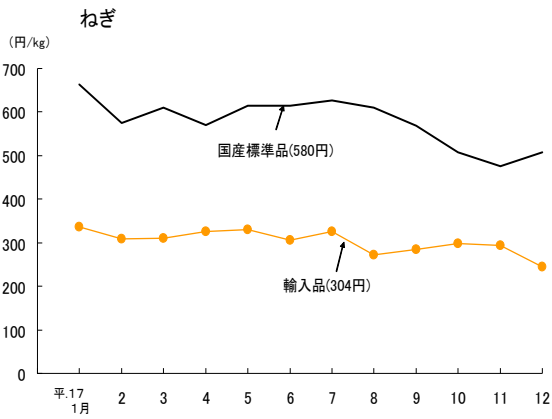
ウ 輸入品は、にんにくが76%（国産標準品2,269円に対し輸入品544円、以下同じ。）、ごぼうが61%（629円に対し244円）、生しいたげが49%（1,612円に対し829円）、ねぎが48%（580円に対し304円）それぞれ国産標準品を下回っている。

図1 主要品目における販売区分別の価格推移



注：1 （ ）内の価格は、年平均価格である。

2 グラフが途切れている部分は、当該月に調査客体において販売がなかったものである。（以下、同じ。）



## 2 並列販売店舗における国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品の価格・販売動向

### (1) 並列販売店舗数割合

国産標準品と有機栽培品等を並列して販売している店舗数割合は、以下のとおりであった。

ア 国産標準品と有機栽培品については、にんじん、たまねぎ、ばれいしょが約1割となっており、他の品目に比べ比較的多くの店舗で並列販売されている。

イ 国産標準品と特別栽培品については、たまねぎ、トマト、ばれいしょ、にんじんが1割以上と他の品目に比べ高くなっている。

ウ 国産標準品と輸入品については、にんにくが約5割と最も高く、次いでブロッコリーが約4割、生しいたけ、しょうがが約3割、ねぎが約2割となっている。

表2 販売区分別の並列販売店舗数割合

品目	並列販売店舗数割合 (%)		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	4.7	2.4	…
にんじん	9.5	10.4	3.6
ごぼう	3.9	7.4	5.4
はくさい	…	2.8	…
キャベツ	1.6	1.6	…
ほうれんそう	5.6	2.7	…
ねぎ	0.7	1.6	18.6
ブロッコリー	…	…	36.3
レタス	…	3.4	…
きゅうり	1.9	6.1	…
かぼちゃ	…	1.4	7.3
なす	0.2	3.4	…
トマト	2.3	12.9	…
ミニトマト	2.3	8.9	1.9
ピーマン	1.1	8.8	…
ばれいしょ	7.2	11.6	…
さといも	…	2.3	0.8
たまねぎ	8.5	13.2	4.6
にんにく	…	0.7	46.2
しょうが	…	3.0	27.6
生しいたけ	…	…	30.8

注： 並列販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,073店舗）に対する、各品目の販売区分別の並列販売店舗数（年間延べ）の割合である。

## (2) 販売数量割合

並列販売店舗における有機栽培品等の販売数量割合を品目別にみると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品については、ごぼう、ミニトマト、にんじんが1割以上となっており、比較的高い割合で販売されている。

イ 特別栽培品については、にんにく、しょうがが約3割と多く、次いでかぼちゃ、ほうれんそう、さといもが2割以上の割合で販売されている。

ウ 輸入品は、さといもが約8割と最も多く、次いでミニトマト、ブロッコリー、にんじん、ごぼうが6割以上と高い割合で販売されている。

表3 並列販売店舗における販売区分別の販売数量・割合

品目	販売数量			販売数量割合		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	4	3	...	5.4	3.6	...
にんじん	6	7	30	10.0	15.2	62.5
ごぼう	1	2	6	14.3	18.2	60.0
はくさい	...	7	...	...	11.7	...
キャベツ	4	5	...	3.1	3.6	...
ほうれんそう	1	9	...	3.4	21.4	...
ねぎ	2	5	11	7.1	19.2	34.4
ブロッコリー	...	...	17	...	...	63.0
レタス	...	7	...	...	12.7	...
きゅうり	1	2	...	1.6	3.6	...
かぼちゃ	...	8	25	...	22.2	56.8
なす	1	1	...	0.8	3.2	...
トマト	2	6	...	3.4	10.5	...
ミニトマト	1	2	4	11.1	13.3	66.7
ピーマン	0	3	...	0.0	17.6	...
ばれいしょ	6	12	...	8.6	18.2	...
さといも	...	3	9	...	21.4	75.0
たまねぎ	6	15	39	6.4	15.8	27.1
にんにく	...	2	2	...	33.3	50.0
しょうが	...	2	4	...	28.6	50.0
生しいたげ	...	...	5	...	...	50.0

単位 { 販売数量 : kg  
割合 : %

注：1 販売数量は、並列販売店舗における1店舗、1か月当たりの販売数量（1日分）である。

2 販売数量割合は、並列販売店舗における各販売区分（有機栽培品、特別栽培品、輸入品）の販売数量と国産標準品の販売数量の計に対する各販売区分の販売数量の割合である。

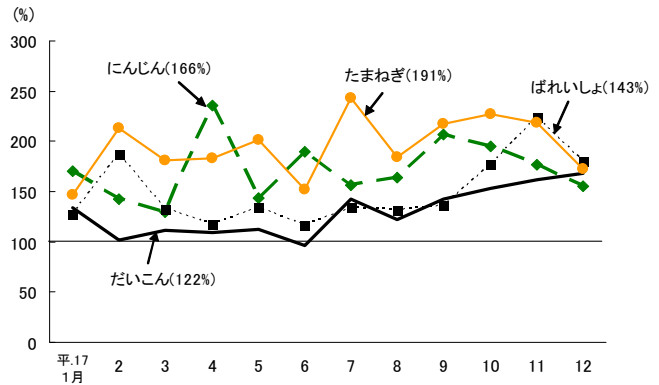
例) 有機栽培品の販売数量割合 = 有機栽培品の販売数量 / (国産標準品の販売数量 + 有機栽培品の販売数量) × 100

### (3) 価格動向

並列販売店舗における主要品目の年平均価格について、国産標準品の価格と販売区分別の価格を比較すると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品は、たまねぎが91%、にんじんが66%、ばれいしょが43%、だいこんが22%、それぞれ国産標準品を上回っている。

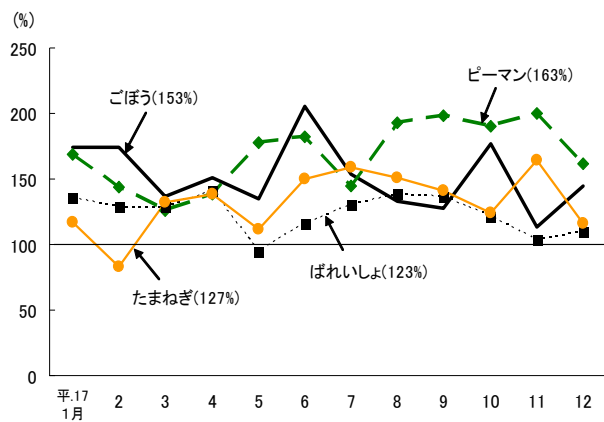
図2 有機栽培品の国産標準品との価格比



注：1 国産標準品の価格を100とした比率(%)である。  
2 ( )内の数値は、年平均価格比である。

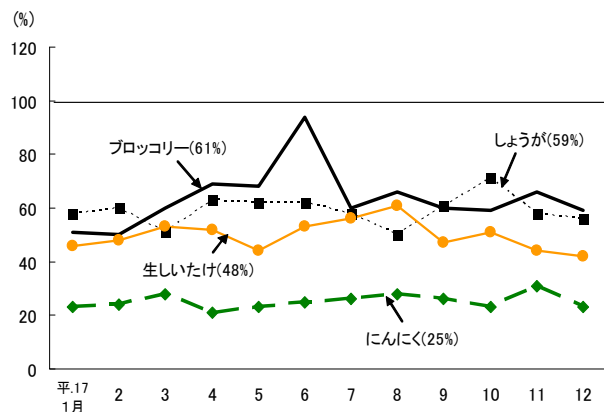
イ 特別栽培品は、ピーマンが63%、ごぼうが53%、たまねぎが27%、ばれいしょが23%、それぞれ国産標準品を上回っている。

図3 特別栽培品の国産標準品との価格比



ウ 輸入品は、にんにくが75%、生しいたけが52%、しょうがが41%、ブロッコリーが39%、それぞれ国産標準品を下回っている。

図4 輸入品の国産標準品との価格比

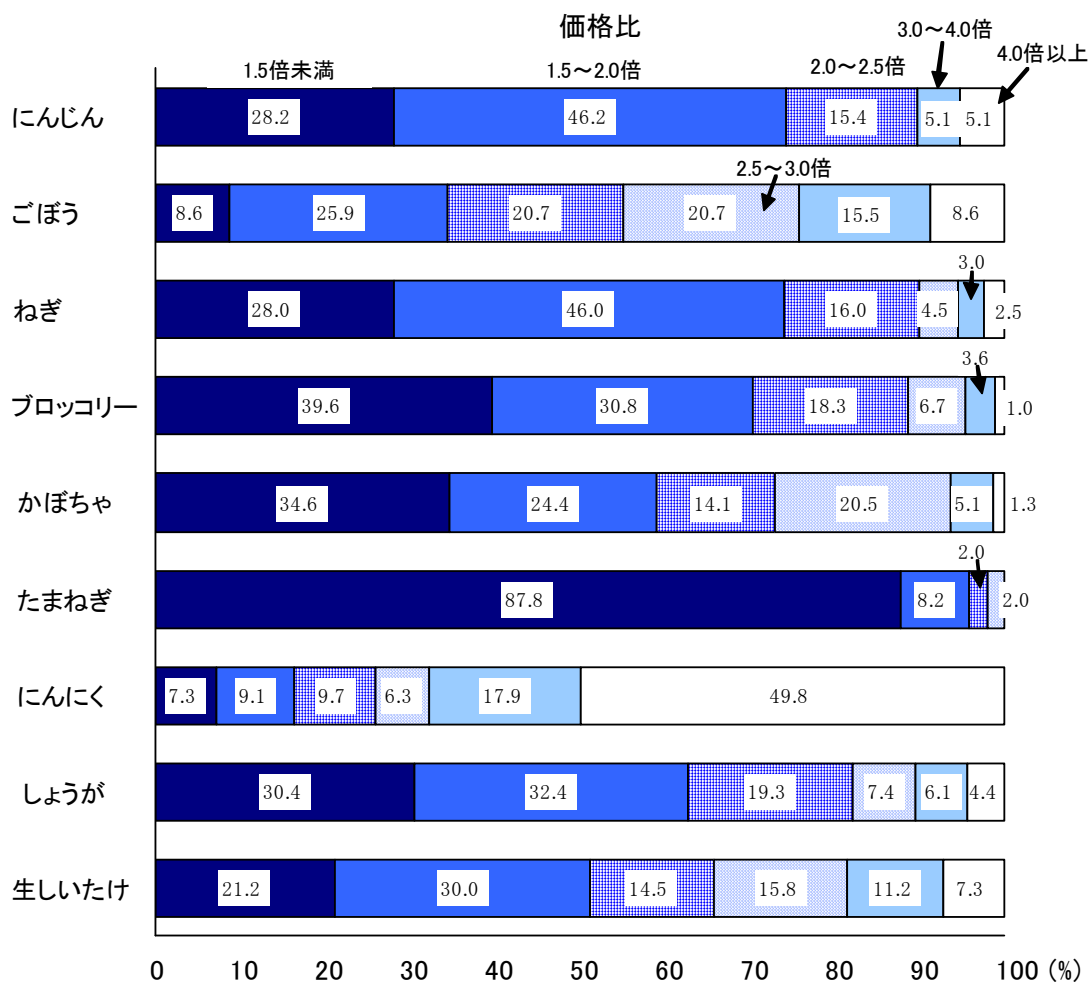


#### (4) 輸入品に対する国産標準品の価格比と国産標準品の販売数量割合

国産標準品と輸入品の並列販売店舗において、輸入品の販売が多かった品目について、輸入品に対する国産標準品の価格比（国産標準品/輸入品）による店舗数の分布をみると、国産標準品と輸入品の価格差が比較的小さい1.5倍未満の店舗数が多い品目は、たまねぎ、ブロッコリー、かぼちゃとなっており、1.5～2.0倍では、にんじん、ねぎ、しょうが、生しいたけ、ごぼうとなっている。にんにくでは、半数近い店舗で価格比4.0倍以上となっており、他の品目に比べ国産標準品と輸入品の価格比が大きくなっている。

また、国産標準品と輸入品の販売数量合計に占める国産標準品の販売数量割合を価格比別にみると、品目によってばらつきはあるものの、総じて価格比が小さい店舗ほど国産標準品が高い割合で販売されている。

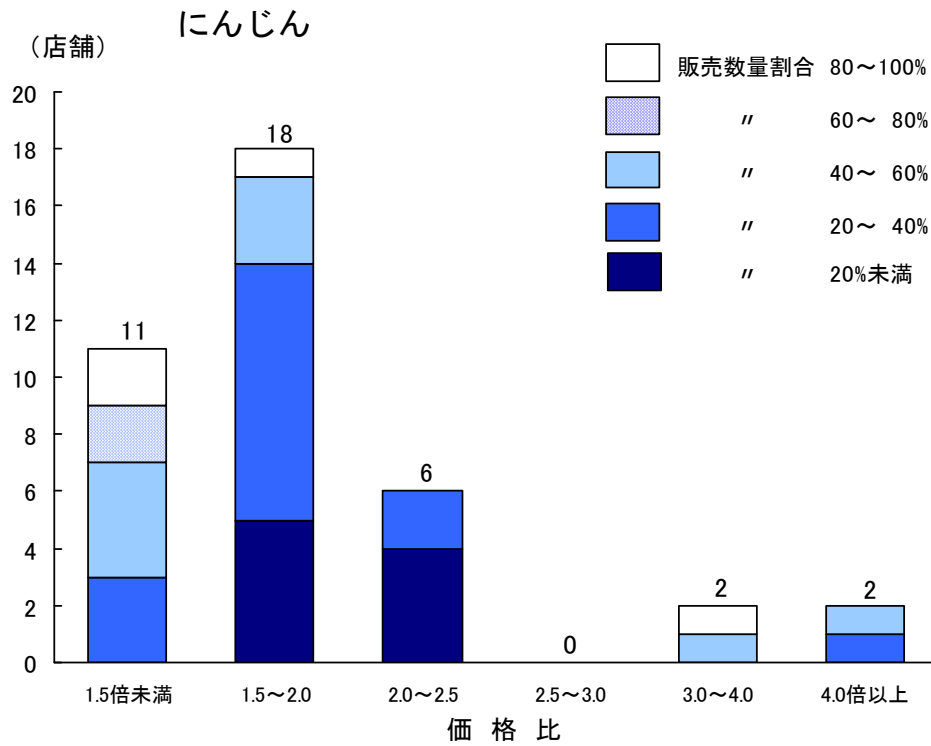
図5 価格比別の輸入品並列販売店舗数割合



注：価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格

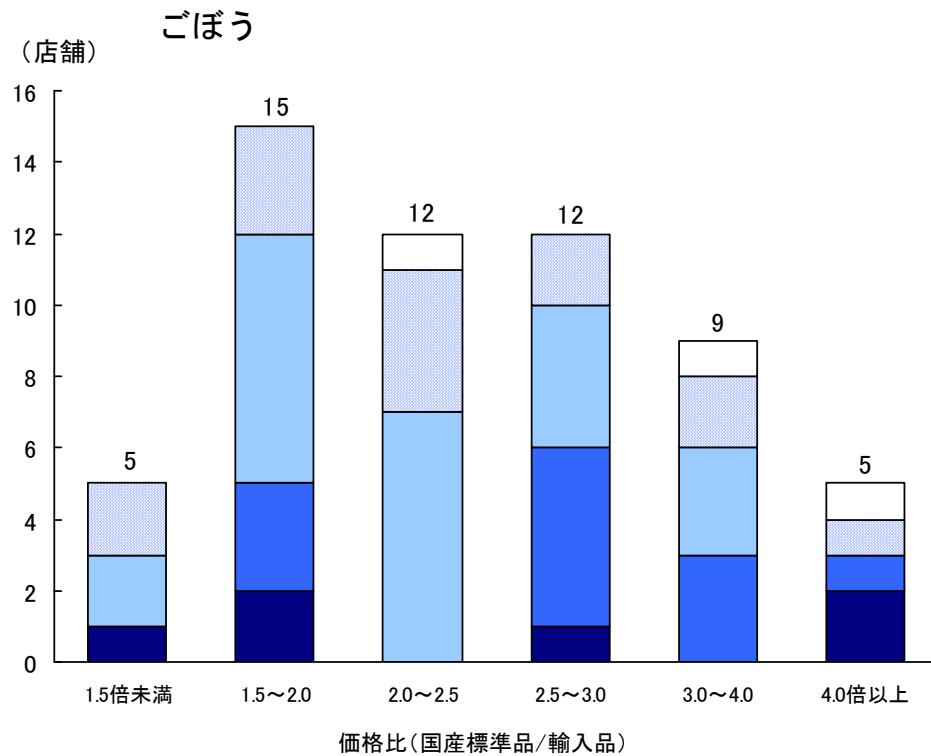


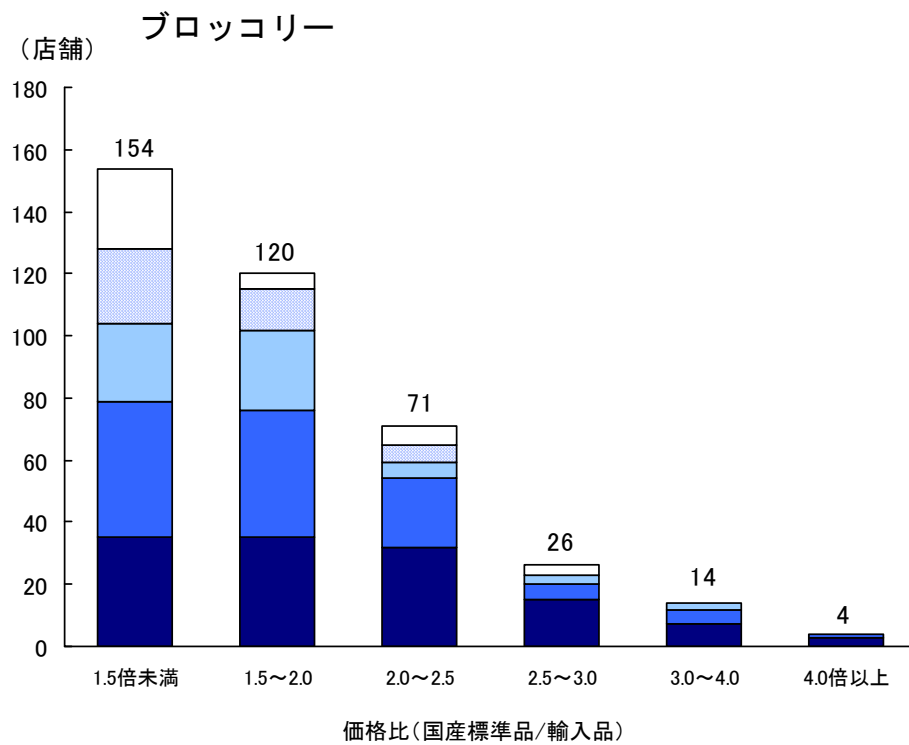
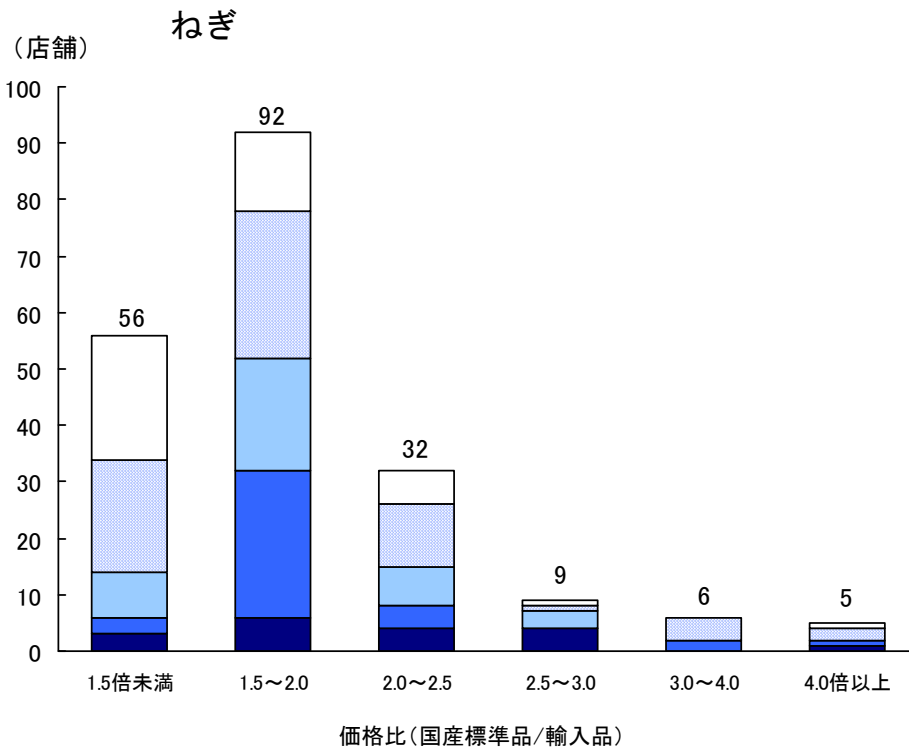
図6 価格比別・販売数量割合別にみた店舗数の分布

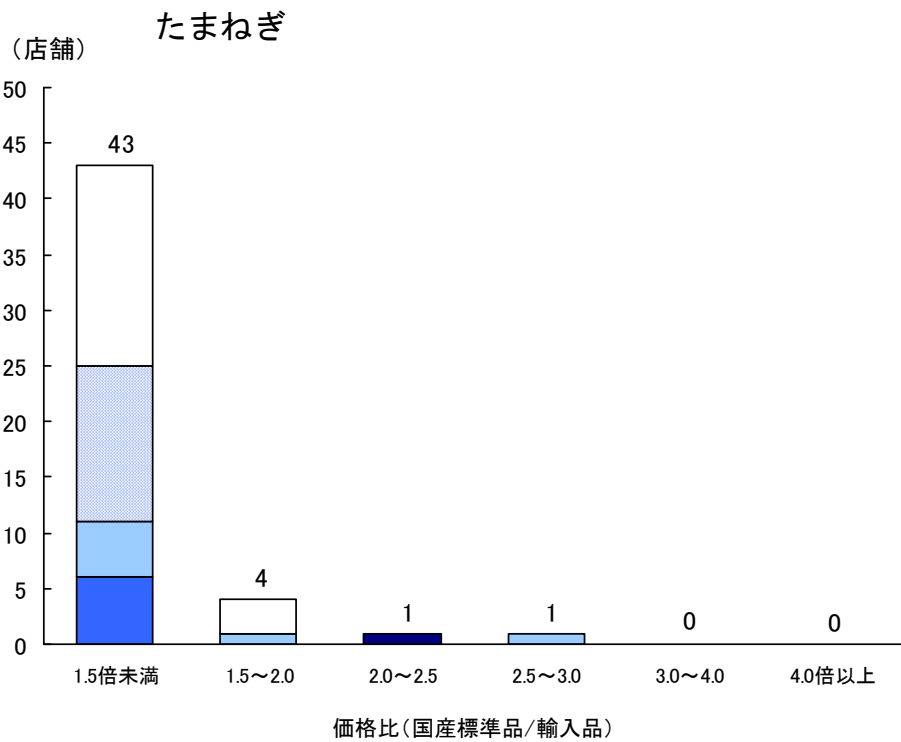
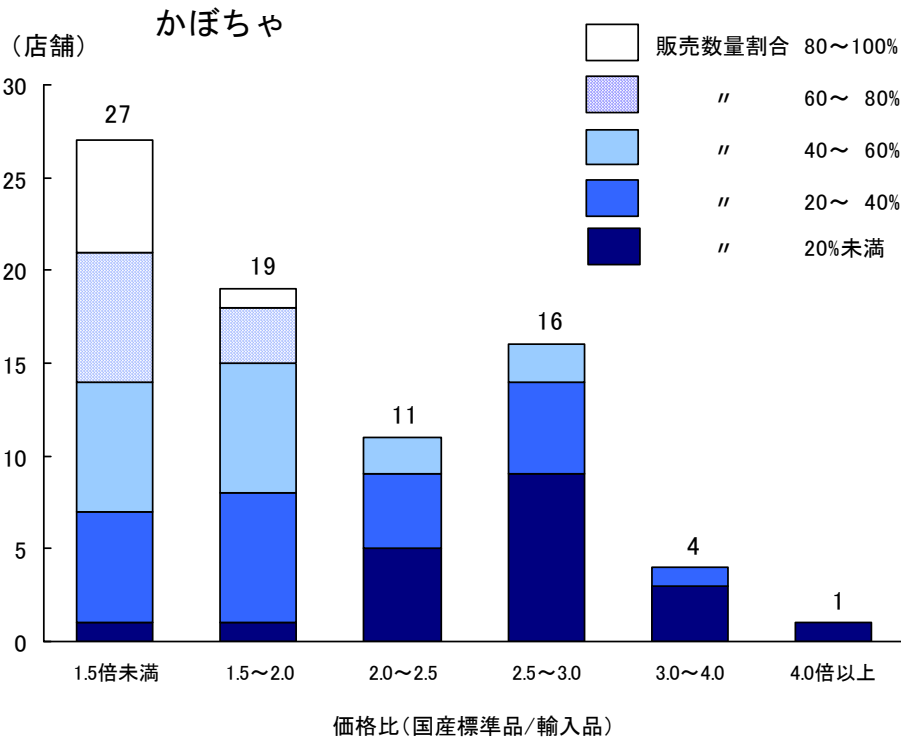


注：1 価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格

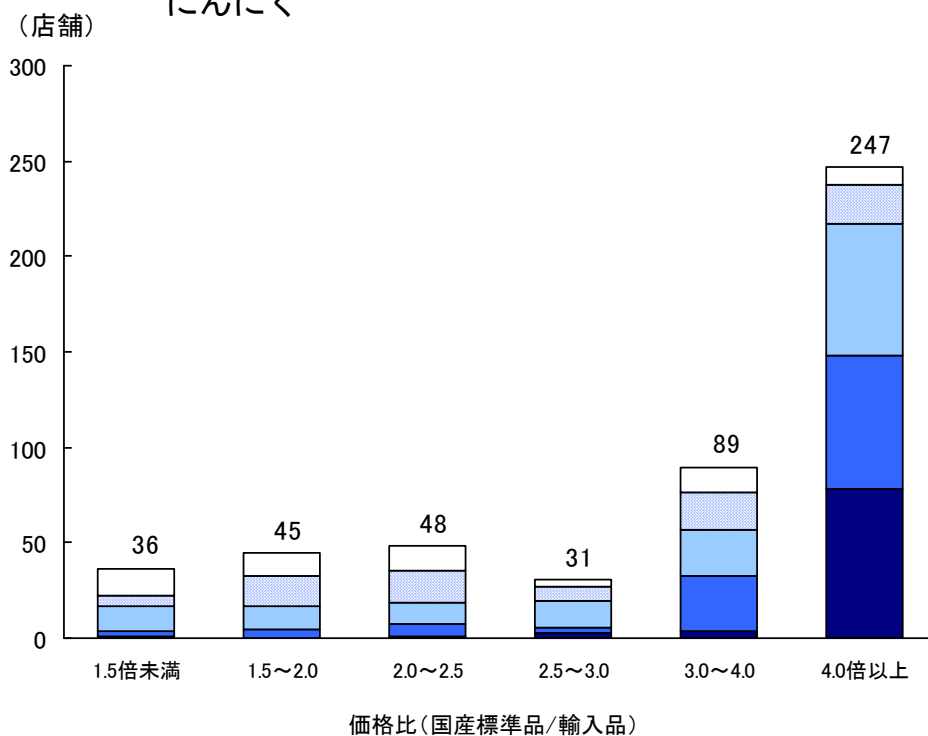
2 販売数量割合＝国産標準品の販売数量／（国産標準品の販売数量＋輸入品の販売数量）×100



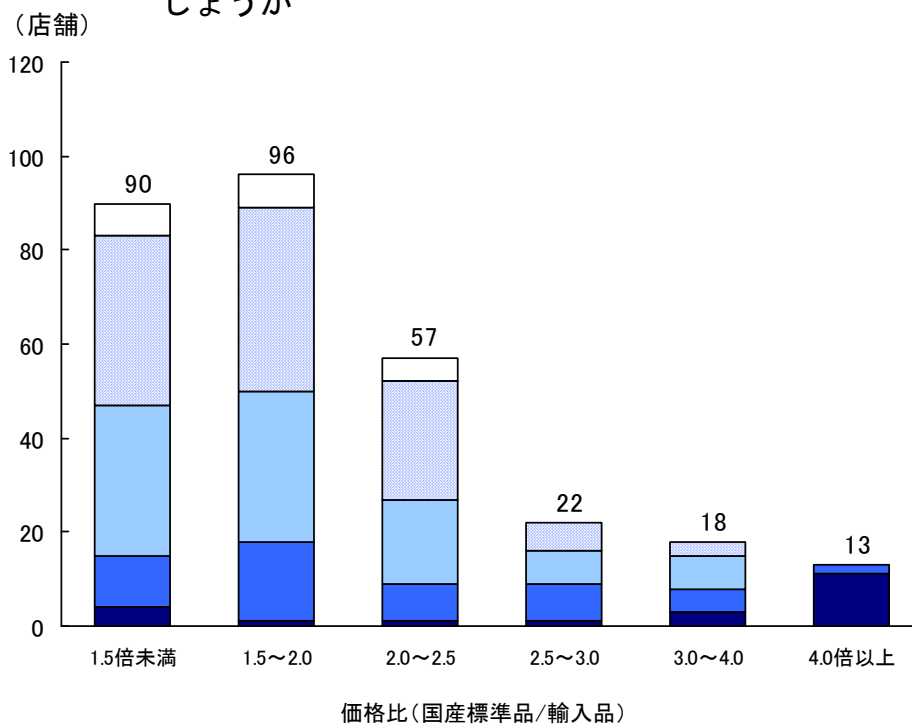


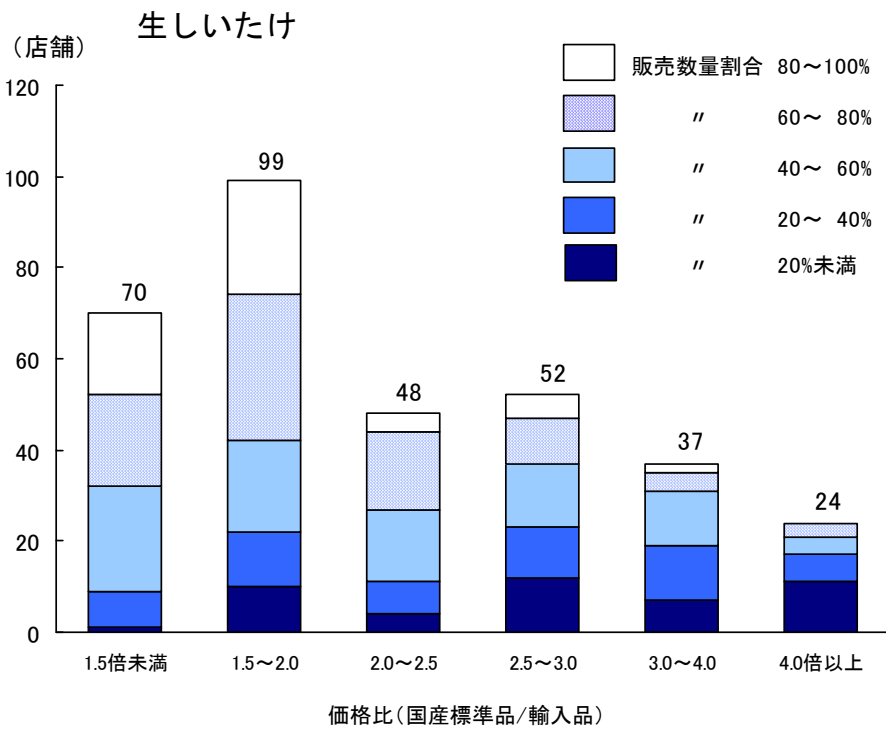


## にんにく



## しょうが



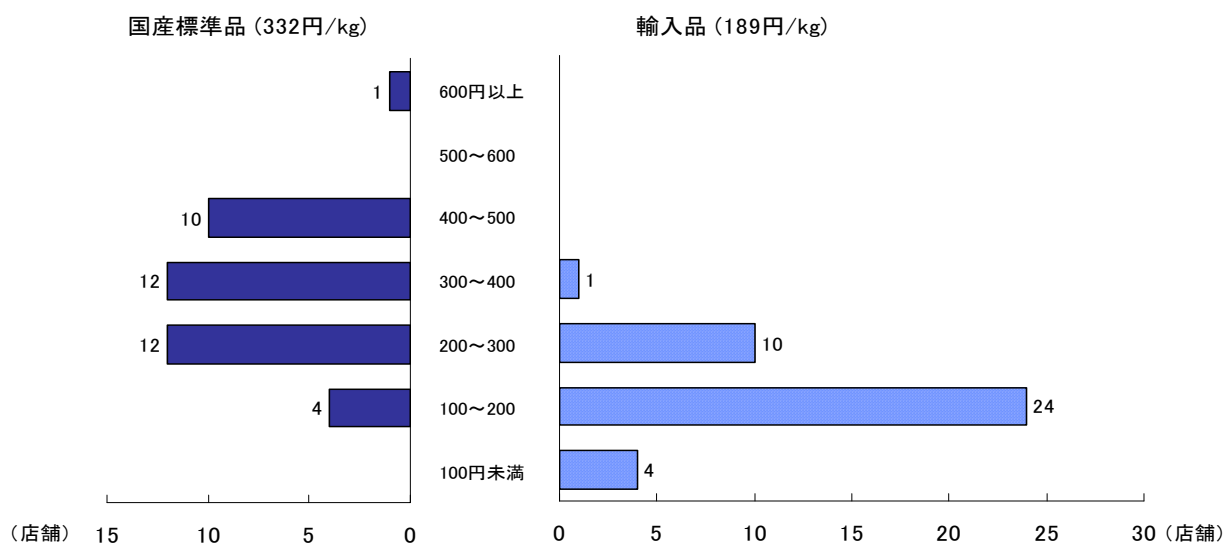


(5) 国産標準品と輸入品を並列販売している店舗における販売価格

国産標準品と輸入品の並列販売店舗において、輸入品の販売が多かった品目のそれぞれの販売価格をみると、総じて輸入品の価格の方が安く設定されている。特に、にんじん、ごぼう、ねぎ、ブロッコリー、にんにく、しょうが、生しいたけについては、大半の店舗で輸入品の方を安く設定して販売している。

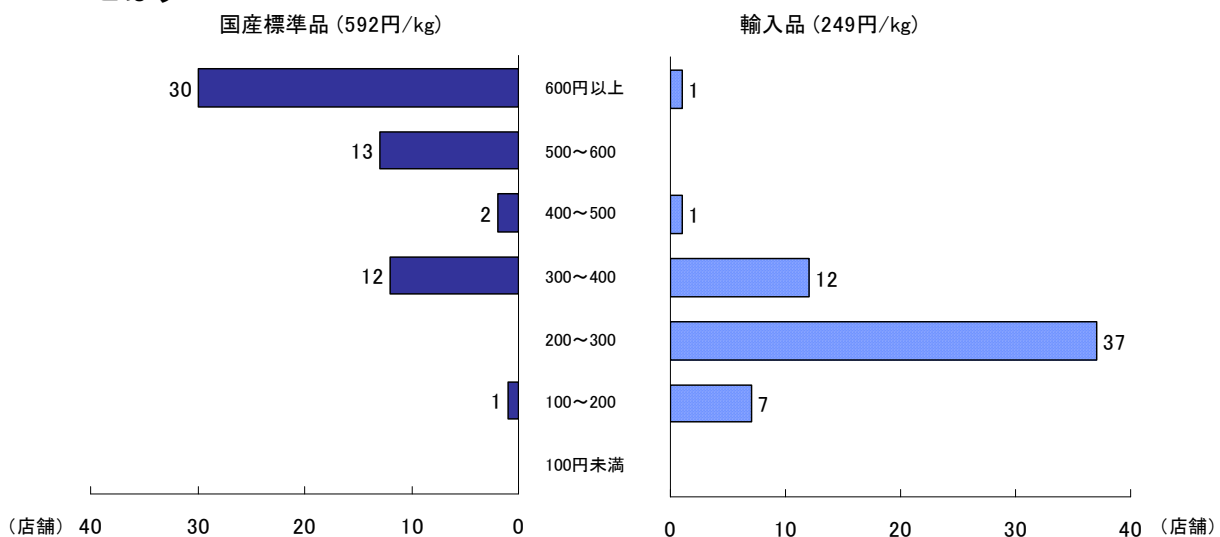
図7 並列販売店舗における国産標準品と輸入品の販売価格別店舗数

にんじん

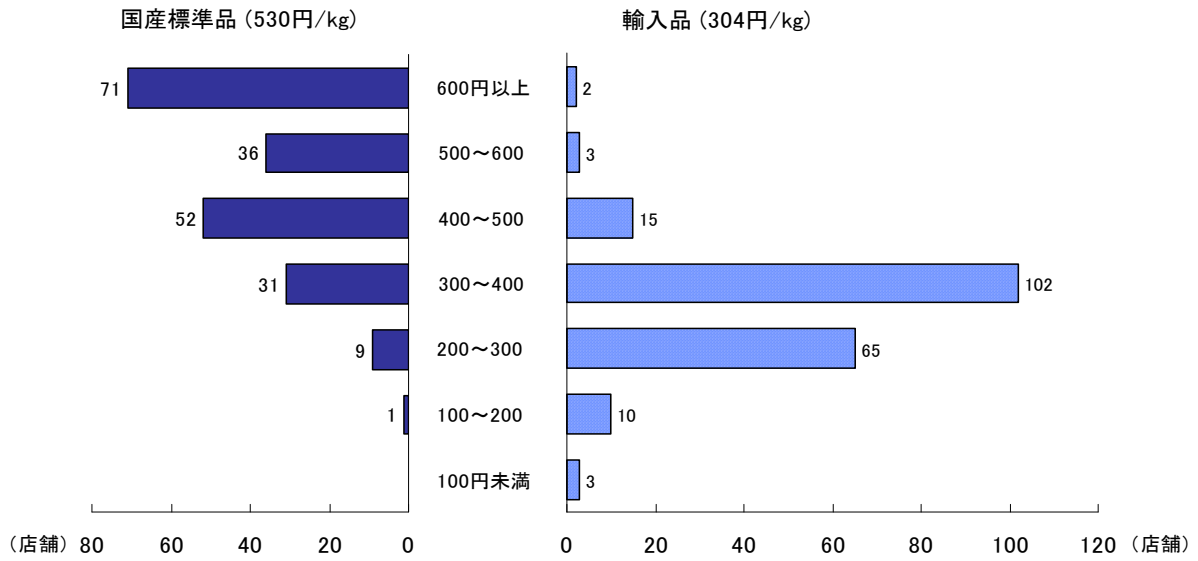


注： ( )内の価格は、年平均価格である。(以下、同じ。)

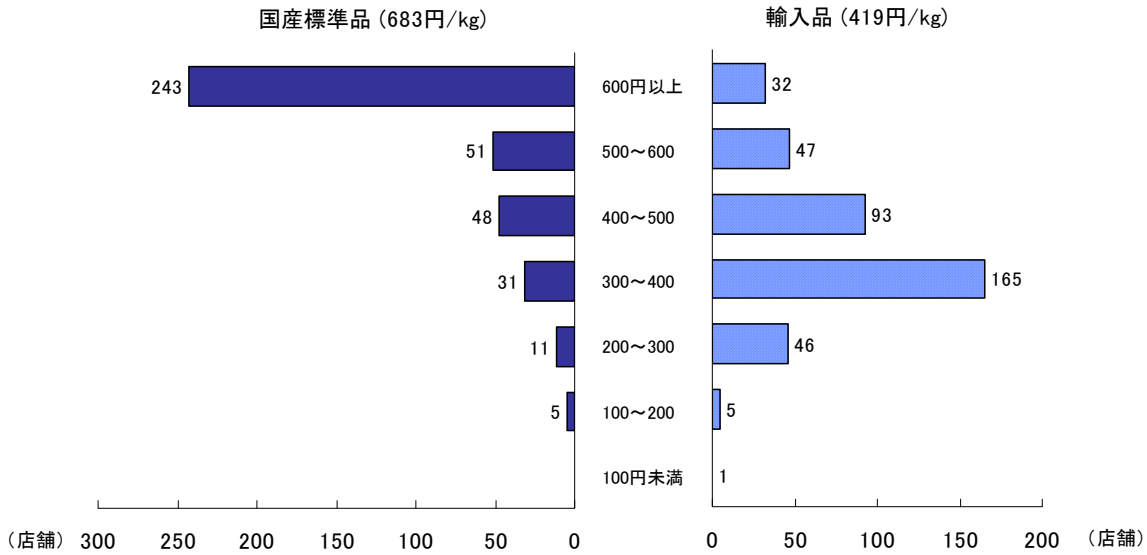
ごぼう



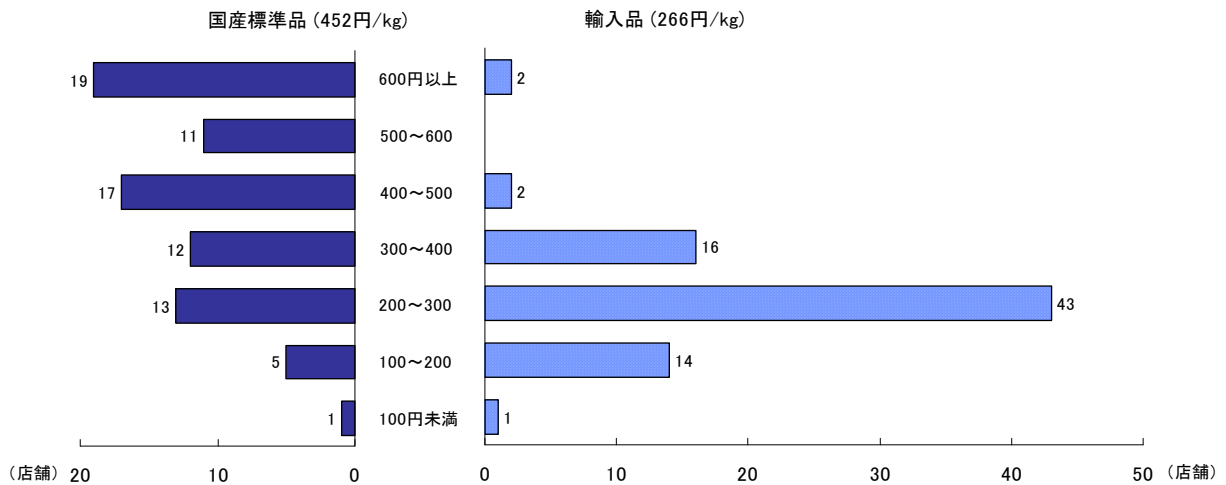
## ねぎ



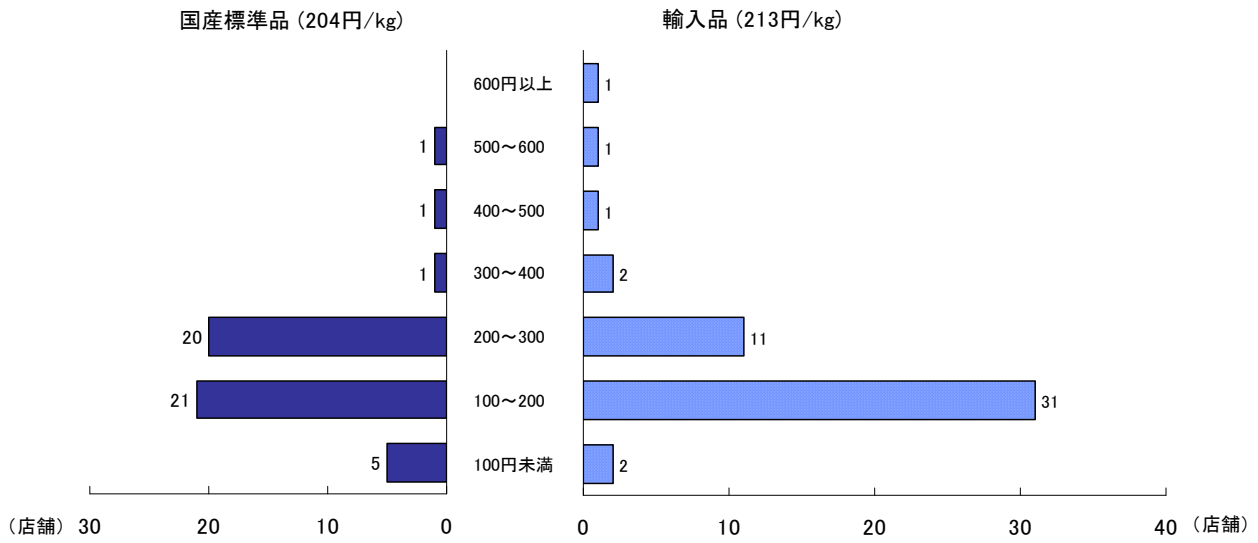
## ブロッコリー



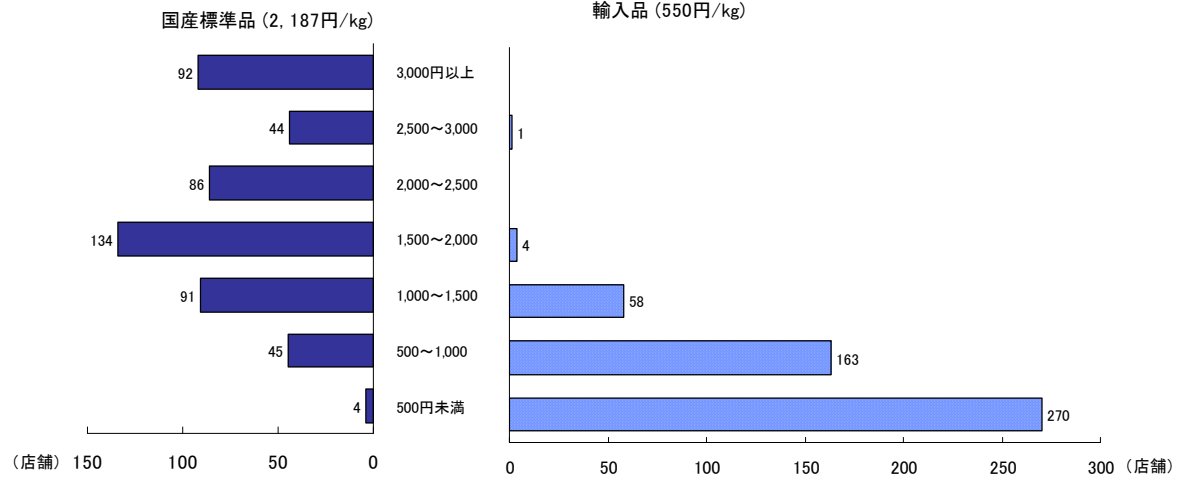
## かぼちゃ



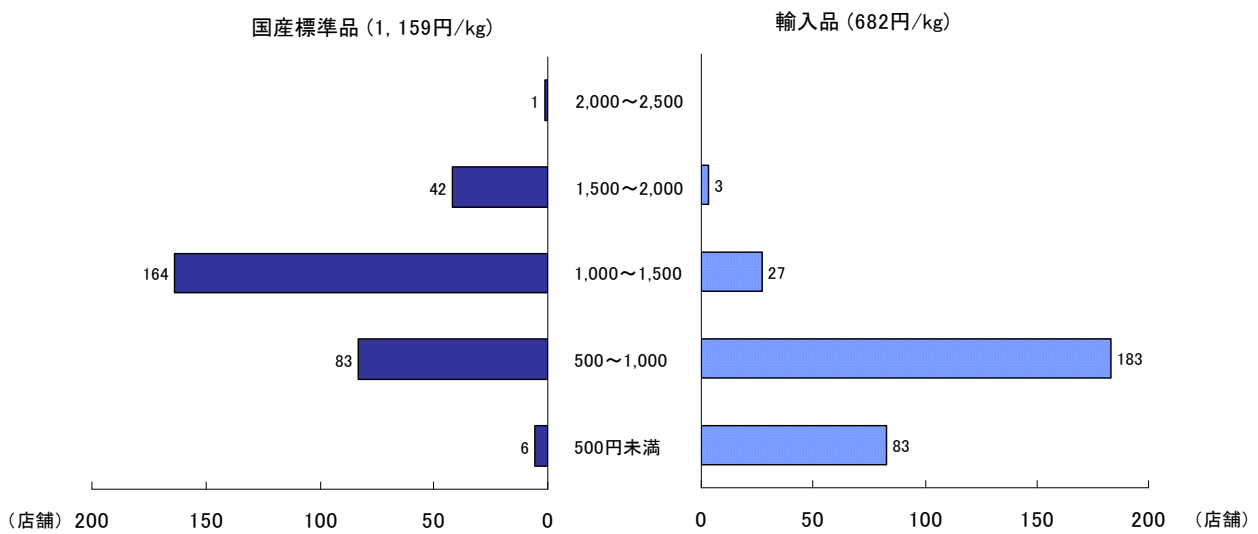
## たまねぎ



## にんにく



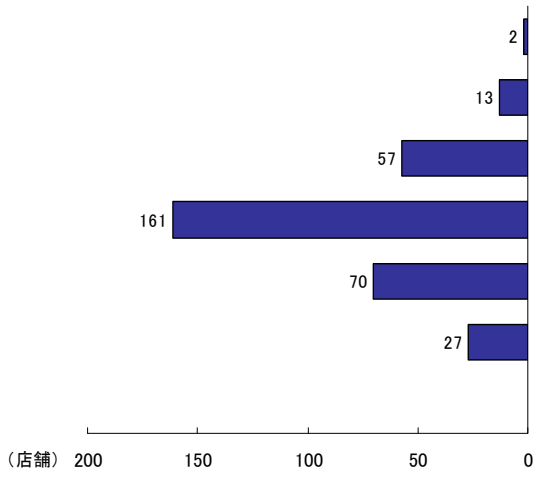
## しょうが





# 生しいたけ

国産標準品 (1,748円/kg)



輸入品 (839円/kg)

